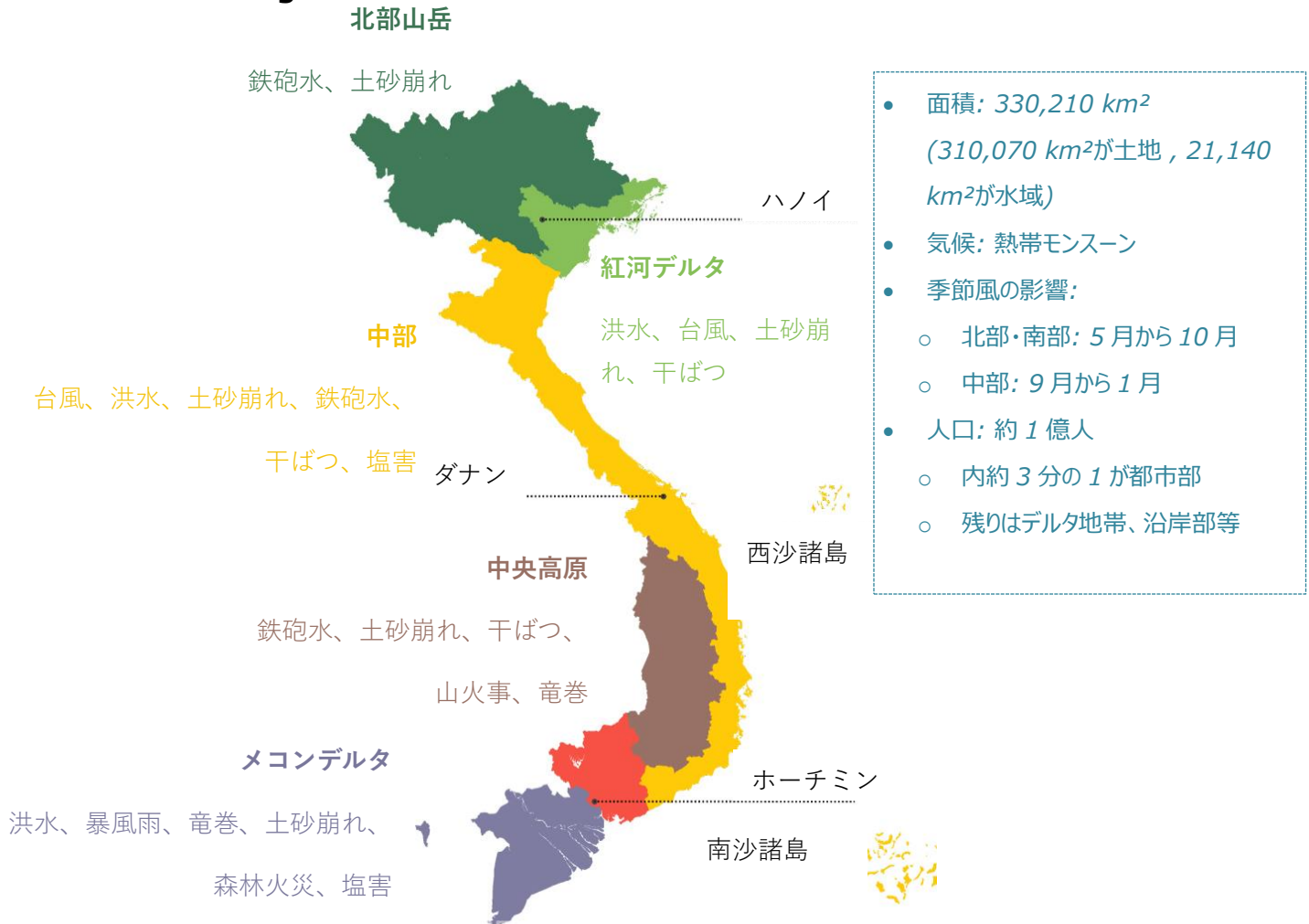


ベトナムの災害事情

自然災害の発生状況

ベトナムはアジア太平洋地域で最も災害リスクの高い国の一つです。3,300 kmの海岸線を有し、台風、洪水、土砂崩れ、干ばつ、海岸浸食など、さまざまな水文気象災害にさらされています。その中で、最も深刻なのは洪水であり、多大な経済損失をもたらしています。また、ベトナムは気候変動の影響を受けやすい国の上位 5 カ国にも挙げられており、特に低地の沿岸部とデルタ地帯は、海面上昇による影響を強く受けています¹。一方で、ベトナムにおける地震のリスクは比較的低く、近年は津波も発生していません²。

Figure 1: ベトナムの地理的特徴と主な自然災害の発生状況³



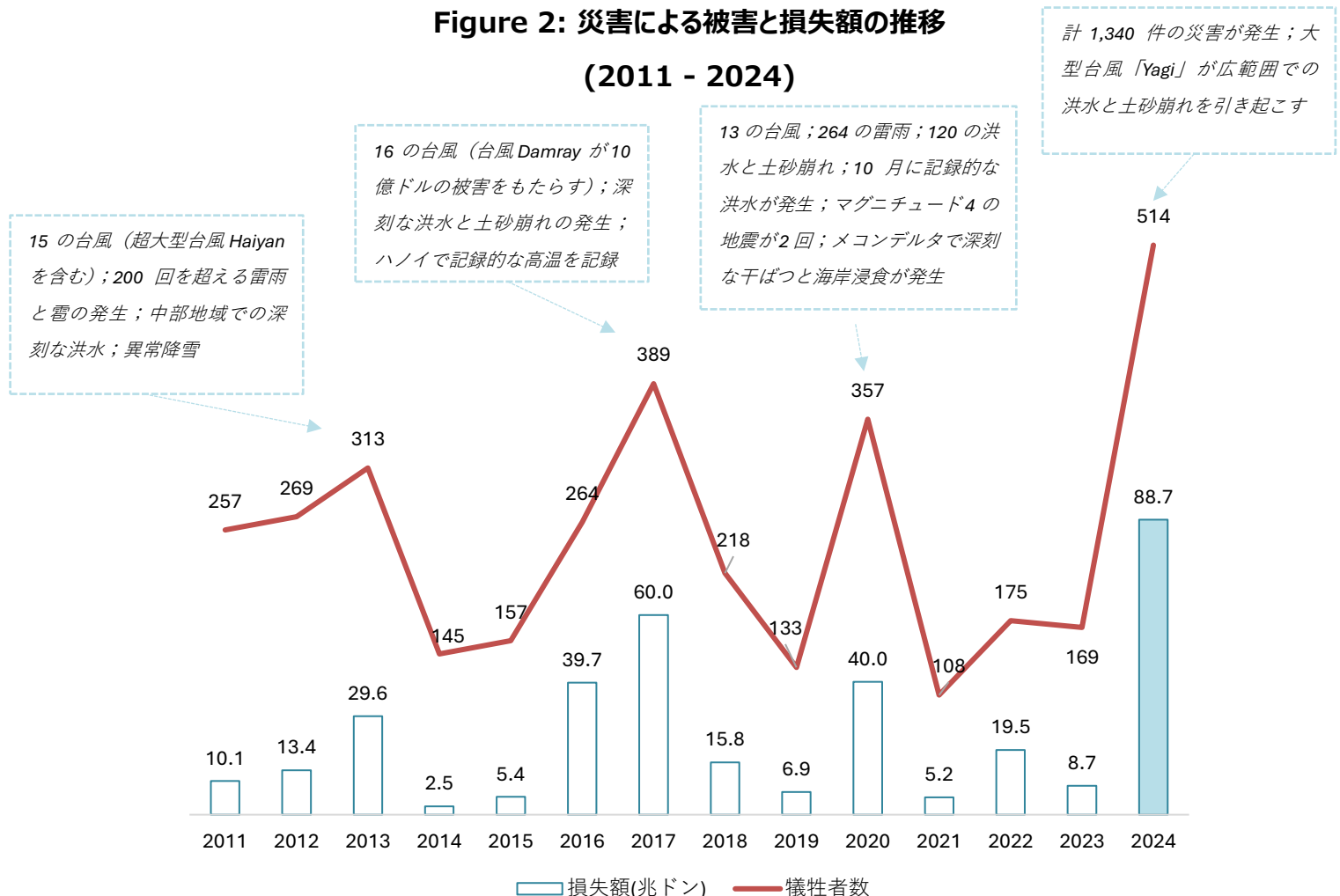
¹ Asian Disaster Reduction Center – Visiting Researcher Program (2023): Country Report 2023 <[Access](#)>

² Center for Excellence in Disaster Management & Humanitarian Assistance (2025): Vietnam Disaster Management Reference Handbook <[Access](#)>

³ There will be no change in Vietnam's 6 socio-economic regions after the 2025 province-city merger.

過去 14 年間では、災害による死者・行方不明者は年間平均 250 人、国内総生産（GDP）に対する経済損失は約 0.5%から 1.5%にのぼります。以下のグラフは、2011 年から 2024 年までの主な被害と損失額の推移を示しています。

**Figure 2: 災害による被害と損失額の推移
(2011 - 2024)**



ベトナム政府は、予測困難かつ被害の大きい自然災害の発生頻度が増加しており、それに伴い人的被害や経済的損失が拡大していることを指摘しています⁴⁵。特に 2024 年は、過去数十年間で最も被害が深刻な年となり、9 つの台風、1 つの熱帯低気圧、および 232 件の異常気象が、死者 514 人、約 88 兆 VND の経済損失を引き起こしました⁶。特に、2024 年 9 月に発生した台風「Yagi」は、ベトナムに上陸した台風としては 70 年に 1 度クラスの非常に強い台風であり、広範な被害をもたらしました⁷。また、2015 年から 2016 年および 2020 年のメコンデルタにおける深刻な干

⁴ Ninh Binh Newspaper (2021): Gov't establishes National Disaster Management Fund <[Access](#)>

⁵ Thanh Nien (2019): Natural disasters leave about 300 people dead and missing each year <[Access](#)>

⁶ VOV (2024): In 2024, severe and extreme natural disasters caused extremely heavy damage <[Access](#)>

⁷ Online Finance Magazine (2024): Natural disasters in Vietnam in 2024: Increasing in frequency and intensity <[Access](#)>

ばつは、前例のないレベルとなり、塩水浸入がこれまで以上に早く、かつ大規模に発生しました⁸。上述のように、自然災害は深刻化しており、対応能力の強化が急務となっています。

災害防止・対策の取り組み

災害防止・復旧対策強化のためのシステム確立

ベトナムは、災害管理に政府全体で取り組んでおり、国家レベルから地方レベルまで網羅する包括的なシステムを通じた、リスク軽減と緊急対応能力の強化を図っています。この取り組みの一環として、2023 年の民間防衛法に基づき、ベトナム国家民間防衛指導委員会（VNCIVDEF）が設立されました。同機関は、自然災害防止・管理国家指導委員会（NSCNDPC）と事故・災害対応および搜索救助国家委員会（VINASARCOM）の機能を統合し、災害対応および復旧体制の効率化と強化を目的としています。ベトナム国家民間防衛指導委員会（VNCIVDEF）は、首相が議長を務め、各省庁の大臣や参謀総長、ベトナム祖国戦線、ベトナム女性連合、ホーチミン共産青年同盟、ベトナム赤十字社などの主要な社会・市民団体の高官を含む幅広いメンバーで構成されています。地方レベルでは、各省、地区、コミューン（自治体）レベルで運営されている民間防衛指令部が、災害予防、管理、搜索救助活動の実施を担当し、それぞれの管轄区域内で活動しています。

早期警戒システムの強化

ベトナムの早期警戒システム（EWS）は大きな進化を遂げています。現在は農業環境省（MAE）の管理下にあり、災害リスク管理に関する国家戦略の一環として、気象、河川、水文学、地震、沿岸データを含む多様な危険要因の監視を行っています。

また、気象現象の社会・インフラへの影響を予測し、備えを強化することを重視する「影響に基づく予測と警報（IbFW）」への移行を進めています。ベトナム気象水文局（VNMHA）が中心となり、東南アジア洪水警報システム（SeAFFGS）などのアセアン地域内の取り組みを主導し、海外パートナーと連携して予測能力の向上と関係機関間の連携強化に取り組んでいます。これらの取り組みは、国連の「すべての人々に早期警戒システムを」構想に沿ったものであり、ベトナムは 2027 年までに全国に早期警戒網を整備することを目指しています。

⁸ Eco-Business (2024): Sand mining worsens Mekong's saltwater problem <[Access](#)>

ベトナムの課題と日本企業の事業機会

先述の取り組みにもかかわらず、ベトナムの災害管理・警戒システムは課題を抱えており、大型台風「Yagi」が上陸した際には、インフラが深刻な被害を受けました。クアンニン省では 10 万軒以上の家屋が被害⁹、フートー省でのフォンチャウ橋の崩落など特に北部における脆弱性が浮き彫りになっています¹⁰。また、十分な洪水監視システムや浄化システムが整備されていなかったため、被害が拡大しました。そのため、最新設備の導入や古い機器の入替が求められており、政府や人道支援機関も、災害への備えと対応を強化するために技術投資が必要であることを認識しています¹¹。

日本は、ベトナムの災害耐性向上において長年にわたる重要なパートナーです。例えば、国際協力機構（JICA）は、ベトナムの災害リスク削減支援において重要な役割を果たしており、特にベトナムの中部におけるレジリエント（災害に対する回復力のある）コミュニティの構築に注力しています。このプロジェクトでは、地域社会の対応力強化、早期警戒システムの強化、災害情報管理プラットフォームの作成などが行われています¹²。その他、日本防災プラットフォーム（JBP）は、「日越防災協働対話」において防災技術を紹介、環境省はハノイで早期災害警報システムの実証試験を行っています^{13 14}。



⁹ VnExpress (2024): Quang Ninh supports 100 million VND for each family whose house collapsed by the storm <[Access](#)>

¹⁰ Center for Disaster Philanthropy (2024): 2024 Super Typhoon Yagi <[Access](#)>

¹¹ Vietcetera (2024): Build Back Better From Typhoon Yagi <[Access](#)>

¹² JICA (2025): JICA's Cooperation in Vietnam in the field of Disaster Risk Reduction <[Access](#)>

¹³ Japan Bonsai Platform (2024): 8 JBP member companies participated in the 12th Vietnam-Japan Disaster Management Collaboration Dialogue Workshop in Hanoi City on 28th November in 2024 <[Access](#)>

¹⁴ Ministry of Natural Resources and Environment (2025): Japan to pilot an early disaster warning system in Hanoi <[Access](#)>

以上のことから、ベトナムは、防災と安全技術における潜在的な市場となるでしょう。台風、洪水、土砂崩れなどの自然災害のリスクがますます高まっている中、最近の大型台風の被害も相まって、効果的な解決策への需要が高まっています。そんな中、高知県の企業は防災分野で確固たる実績を有しており、ベトナムのニーズと一致する可能性があります。以下は、今後需要が高まると予想される防災設備等の例です。

- 早期警戒および監視：精度の高いリアルタイム洪水、土砂崩れ監視システム（洪水が頻発する北部および中央高地地域）
- 台風被害軽減・災害耐性強化：プレハブ式擁壁、強固な鉄筋コンクリート、環境に優しい土壌安定化技術など
- 水および環境技術：水陸両用車両、水汚染対策バリア、浄水システムなど、災害復旧や水の確保に必要な設備
- 緊急支援物資：警告灯、小型発電機、非常食など

ベトナムが「災害に強い国づくり」に取り組む中、ベトナムのニーズに合った持続可能なソリューションが求められています。それらを提供することは、ベトナムの災害対策への貢献だけでなく、東南アジアにおけるプレゼンス拡大にもつながるものとなります。